

国際交流実績

マレーシア

マレーシア工科大学(UTM)

Zaini Ujang 副学長来学



2013年6月3日、Zaini Ujang 副学長を団長とするマレーシア工科大学 (Universiti Teknologi Malaysia, UTM)訪問団が筑波大学に来学されました。

本学生命環境系と UTM は、2012年11月に連携協定を締結して以降、UTM および UTM 内に開校したマレーシア日本国際工科院 (MJIIIT) からの学生受入れや教員派遣など多層的な交流を進めてきました。2013年2月に白岩善博生命環境系長が UTM を訪問し、両大学間連携スキームの話し合いを持ったことを受け、さらに具体的な連携の方向性を協議するために、この度 Zaini 副学長が来学される運びとなりました。今回来学されたのは Zaini 副学長のほか、Abu Bakar Mohd Nor 理事、Megat Johari MJIIIT 院長、山本隆司 MJIIIT 副院長、Zuriati Zakarita MJIIIT 環境グリーン技術工学専攻長、Nooh Abu Bakar MJIIIT 技術経営専攻長、Amin Abu MJIIIT 機械精密工学専攻長など10名です。

UTM 訪問団は本学滞在中、永田学長を表敬し、両大学の今後の連携可能性について幅広く話し合いを行ったほか、白岩生命環境系長、指田生命環境科学研究科長、佐藤生命環境科学群長と協議を行い、連携協定にもとづく学生交流や教員派遣について、さらに積極的に進めて行くことを確認しました。また、一行は藻類研究施設や水処理研究施設を見学し、環境技術・工学分野の教育研究交流についていくつかディスカッションを行いました。

Zaini 副学長および Megat 院長をはじめ UTM-MJIIIT は、筑波大学とより密接な協力関係を築いて行くことに対して大変積極的です。生命環境系としても UTM-MJIIIT と長く実りある関係を醸成していくべく、教職員連携チームを組織して取り組んでいます。今回、UTM 訪問団が本学キャンパスや研究施設を実際にご覧になり、また関連分野教員との交流を深められたことで、連携の動きがより活発になるものと期待されます。

※マレーシア工科大学は、マレーシア国内にある5重点国立大学の1つで、工学・技術分野では随一の大学です。Johor Bahruにある本キャンパスのほか、首都 Kuala Lumpur 中心部に国際キャンパスがあります。

※マレーシアの大学における学長は王族名誉職のため、副学長(Vice Chancellor/President)が実質的には学長にあたります。なお Zaini Ujang 副学長は、2013年6月3日付けでマレーシア教育省第2次官 (Secretary General II) に任命されました。



写真

左上：系長室にて(前列左より、指田勝男研究科長、Megat Johari MJIIIT 院長、白岩善博系長、Abu Bakar UTM 理事、Zaini Ujang UTM 副学長、Nooh Abu Bakar MJIIIT 教授、山本隆司 MJIIIT 副院長、後列左より、佐竹梓乃生命環境支援室職員、田中同室職員、奥村同室職員、佐藤学群長、Baharudin Mastari UTM 副学長室秘書、杉浦則夫特命教授、Zuriati Zakaria MJIIIT 教授、Amin Abu MJIIIT 教授、寺門麻美子 MJIIIT コーディネーター、岩本浩二講師)

上：学長表敬(左より、Megat Johari MJIIIT 院長、Abu Bakar UTM 理事、Zaini Ujang UTM 副学長、永田恭介学長、Caroline Benton 副学長、白岩善博系長、杉浦則夫特命教授)

下：水処理研究室を視察する Zaini Ujang UTM 副学長

甲斐田 直子

システム情報系社会工学域・助教(持続環境学専攻担当)。専門は環境経済・政策学。学類在学時にマレーシア(マラヤ大学)に1年間留学。

